

住民アンケートに関する検討会議

報告書

平成22年1月8日

目 次

ページ

1. 報告書本文	1
2. 資料1 「各アンケート調査一覧表」	8
3. 資料2 「住みやすさ、地域への愛着についての満足意識」による比較検討について	12
4. 資料3 「住みやすさ」「不満足意識」等結果の比較について	25
5. 資料4 一万人アンケートの見直しについて	28

1. 検討会議の設置

(1) 目的

市町と県が住民ニーズを的確に把握するための住民アンケートの調査方法を研究し、担当者の専門性を高めていく活動を行うことを目的として、「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」の検討会議として設置した。

(2) 検討内容

アンケート作成のポイントを学ぶために「住民アンケート実践講座」の実施や5市2町と県が実施した住民アンケートの設問内容や結果の活用方法等について、事例研究、意見交換を実施しました。

(3) 開催実績（平成21年度）

第1回〔7/21〕.....住民アンケート実践講座

第2回〔8/24〕.....事例報告 津市、度会町

住民アンケートで抱える課題等について

第3回〔9/15〕.....事例報告 四日市市、亀山市

「住みやすさ、地域への愛着についての満足意識」による比較検討について

第4回〔11/13〕.....事例報告 志摩市【次世代育成支援】、朝日町

住みやすさ等アンケート結果の比較について

第5回〔1/8〕.....事例報告 伊賀市、交通政策室

平成22年度一万人アンケートの見直しについて

1. 各市町と県のアンケート調査の概要

メンバーの所属団体のアンケートの概要は、別添資料1 (8p~11p)のとおりです。

事例研究を行った5市2町と県（津市、四日市市、亀山市、志摩市、伊賀市、朝日町、度会町、県交通政策室）のアンケートの説明等の概要は以下のとおりです。

(1) 津市：第1回市政アンケート・・・事例1（第2回 8/24）

【説明】

市民交流課から各部各課に照会、協議しアンケートの設問内容を決定している。特徴としては、行政情報サービスの設問が多い。

回収率は55.4%と他の自治体と比較して高いと言われるが、平成10年度が74.3%、平成12年度が62.0%であり、以前と比べると低くなっている。

【助言者からのアドバイス】

津市のアンケートのように「まちづくりの重要度」「まちのイメージ」といった設問項目をまとめると回答者が答えやすくなると思われる。また、設問数が多い場合は答えてほしい設問を前に持ってきた方が良い。

(2) 度会町：地域交通体系に関するアンケート・・・事例 2 (第 2 回 8/24)

【説明】

アンケートを実施する際に具体的に回答していただくように自主運行バスの委託費用と年間 1 世帯当たりの負担額を提示している。

回収については、防災無線で呼びかけるとともに郵送、FAX、区長預、役場窓口への直接提出などで実施している。

【助言者からのアドバイス】

問 3 の「路線バスの満足度」の結果の中で、満足度は平均値に近い 2. 「やや不満」から 4. 「ほぼ満足」を軸に示すのではなく、1. 「不満」、5. 「満足」を含めた 5 段階評価の軸で表し、また不明と無記入を除いて%を出すと判りやすい結果が出る。

(3) 四日市市：第 36 回市政アンケート・・・事例 3 (第 3 回 9/15)

【説明】

市政アンケートは広報の一環であると考え、5,000 人の市民の方々に郵送している。

設問の取り組み内容を毎年更新しており、公共交通の便利さは昨年度から取り入れた。また、二つの設問を一つの項目にまとめてしまっている箇所がある。

【助言者からのアドバイス】

満足度を平均値で表すと分布に歪みがある場合、その影響を受けるため、全体を表す値となっていない場合がある。データの大きさの順に並べてちょうど 50.0% に対応する中央値、最も度数の大きいデータの値である最頻値を検討することも重要である。

「返信用の封筒の糊付け」、「PR の点も考慮に入れた 5,000 人のアンケート実施」、「督促状の導入」を実施している点が素晴らしい。

(4) 亀山市：市政モニターアンケート・・・事例 4 (第 3 回 9/15)

【説明】

毎月の経営会議で各部各課にアンケートを実施するように呼びかけているが、モニターアンケートを実施しやすいように素案を広報秘書室で作成している。アンケートモニターは年齢の若い方が多く、主に主婦と自営業の方が多い。アンケート結果は回答者に送付すると共にホームページに載せている。

【助言者からのアドバイス】

対象者は少ないが、テーマ別の設問が良いのとモニターから積極的に意見を

頂けるのが良い。

設問が連続することによって、回答者が誘導質問的なイメージを受ける場合がある。

(5) 志摩市：次世代育成支援に関するアンケート・・・事例5(第4回 11/13)

【説明】

アンケートの期間は1月9日～23日の二週間と短かったが、回収率は就学前児童用で52.4%、小学生用で46.8%となった。

アンケート項目は市独自で考えて、質問量が多く複雑になった部分がある。

【助言者からのアドバイス】

ベビーシッター利用が少ないようであれば、集計上「その他」欄に入れてもよい。ただし、全国調査等と比較する場合は項目をそろえた方がよい。

妊娠出産後のサポートの分析は、仕事をしている人としていない人に分けて分析するほうが市として今後の施策に役立てることができる。

市がやっている事業を知らない人もいるので、アンケートを通じてアピールするのも効果的な手法である。「 という事業をしているのだから知っていますか？」というような設問を作ればどうか。

(6) 朝日町：まちづくりアンケート・・・事例6(第4回 11/13)

7月に次世代アンケート、8月にこの総合計画アンケートと連続して実施したので回収率を懸念したが、標本数2,300人に対し、1,040人(45.2%)から回収を得た。なお、集計結果は広報とホームページに載せる予定である。

第5次総合計画に使用することを鑑みて、アンケートの設問として、「まちのキャッチフレーズ」を聞いている。

【助言者からのアドバイス】

問4の選択肢4、問10の選択肢2はダブルバーレルなので選択肢を変更するか削除する方がよい。問2、問4は「どちらでもない」、問7・8・11は「とくに必要はない」、問5は「わからない」という選択肢を入れるべきである。

アンケート期間は3週間設けるとよい。2週目半ばで督促状を送付すると回収率が上がると思われる。

(7) 伊賀市：まちづくりアンケート・・・事例7(第5回 1/8)

【説明】

2月下旬から3月下旬にかけて外国人を含む18歳から80歳までの2,222人を対象として、総合計画に掲げる各分野の生活課題について調査を実施した。旧市町の人口割でアンケートを送付している。回収数は1,021票、回収率45.9%となっている。

【助言者からのアドバイス】

報告書のまとめ方で、意見の傾向をみる為には無回答は除いた方がよいと思わ

れる。

一万人アンケート、他の市町のアンケート等と比較できるように設問項目があれば良いと思われる。

(8) 県交通政策室：「公共交通の利用」に関する e - モニターアンケート

【説明】

鉄道、バスの公共交通に関する利用促進策の参考とするため、利用状況、利用目的、利用しない理由など e - モニターを活用して平成 21 年 2 月にアンケートを実施した。対象者数 1,138 名、回答者数 792 名、回答率 69.0% 鉄道では、「ほとんど利用しない」「全く利用しない」と利用しないと回答した割合は 63.2%、バスでは、同様に利用しないと回答した割合は 88.8%と高くなっている。最も大きな理由の一つとして、自動車の普及があげられる。

【助言者からのアドバイス】

地域別、年齢別、男女別で表現すると視点の違う分析が出来ると思われる。

2. 活動結果

(1) 住民アンケート実践講座～応えたくなるアンケートとは～

講師：コミュニケーションスキル研究所 所長 西村隆 氏

【研修内容】

平成 21 年度一万人アンケートを題材に、グループに分かれてアンケートの改善案を作成し、県民が答えやすくなるような設問、選択肢等について協議・検討した。

【講師からのアドバイス】

ポイントとして「聞きあう関係づくり」(聞くことが楽しくなる環境づくり)、「分かりやすい質問」(聞かれてみたい質問)、「選びやすい選択肢」(住民の気持ちにぴったりの選択肢)の3つが大事。

アンケートは第一印象が大事で、良い第一印象を持ってもらうには「あて先」、「アンケートの趣旨」、「匿名か、記名か」、「予想記入時間」を書くことが必要。設問の流れを最初は「簡単な設問」から「少しずつ考えさせる設問」、最後に「たくさん考えないと回答できない設問」と聞くことで回答しやすくなる。設問に価値観ワード(例：関心がありますか?)を入れると誘導になり、回答者に対し、心の負担になる。設問には価値観ワードの代わりに「どのように」を入れ、選択肢に価値観ワード(例：評価している)を入れると良い。

【受講者の声】

皆で議論してアンケートを作成することが重要であるとわかった。

答える側の人、とにかかく答えやすいようなアンケートを考えて作ることの大切さがわかった。

個々の調査には過去からの蓄積があり、変えるのは難しい面もあるが、今日の講座でいただいた素晴らしい提案を踏まえ、改善していきたいと思う。

(2) 住民アンケートで抱える課題について

【検討事項と助言者からのアドバイス】

検討事項1：回収率の向上

回収率は40%以上あれば問題はない、回収率をあげる方法のひとつに一万人アンケートで回答者に抽選で粗品進呈している。費用が無い場合は配布の回収を自治会に依頼して対面式にすれば高い回収率になる傾向にある。

検討事項2：適正な標本数

統計学的には、分析する場合に必要な標本数は、1,000人以上あれば標本誤差が少なくなるので良いと言われている。

検討事項3：アンケートの作成方法

アンケートの組み立て方は最初に答えやすい設問を用意して、プライバシー関連の設問は後ろにもってくる形式にすると回収率が高くなると思われる。

検討事項4：電子アンケートの導入

インターネット調査は、一般的に大きな調査をする手前のプレ調査と本調査がある。アンケート調査に関しても無作為が基本ではあるが、インターネット調査でも無作為で抽出出来なければ、意見に偏りが出てくる可能性がある。メリットは直ぐに回収でき、また分析するのも早く出来ることや回答間違い・無効票を減らすことなどがある。

(3) 「郵送法によるアンケート」と「インターネット等による電子アンケート」による「住みやすさ、地域への愛着についての満足意識」の比較

・・・[別添資料2 \(12p～25p\)](#)

【実態及び意見】

一万人アンケートは回答者の年齢層の属性として、50歳代以上の中高年が多く回答しているのに対して、電子アンケートである「e-モニター」は50歳代以下の方が多い。

「地域別の住みやすさ」「今後の定住意向」では、一万人アンケート、e-モニターともに県全体では、回答率に大きな違いは無かったが、地区別ではe-モニターの標本数が少ない東紀州地区、伊勢志摩地区、伊賀地区で回答率に違いが生じた。

「美(うま)し国おこし・三重」の認知度では、e-モニターでは「取組内容を知っている」の回答率が23.9%と一万人アンケートの16.0%と比較して高くなっている。e-モニターでは回答時期と「美(うま)し国おこし・三重」のオープニングセレモニーが重なった結果を反映したものなのかを知りたい。

【助言者からのアドバイス】

「美(うま)し国おこし・三重」のオープニングセレモニー(平成21年4月18日)が、e-モニターアンケートの回答に反映されている可能性はある。結果

の比較をするのであれば、一万人アンケートとe - モニターアンケートの時期が同じである必要性がある。

e - モニターの場合、パソコン画面の大小で設問、フリーコメントについて、見やすさに影響が出る可能性がある。

(4) 総合計画に関するアンケートを実施した4市(津市、四日市市、名張市、伊賀市)と一万人アンケートの「住みやすさ」「不満足意識」等結果の比較

・・・別添資料3(26p~28p)

【実態及び意見】

「どちらともいえない」「わからない」といった選択肢があれば、不満足意識が低くなる傾向にある。

「速やかに介護を受けられる」といったイメージしやすくハードルの高い設問は不満足意識が高くなり、一方で市の施策に関する設問は不満足意識が低く、「どちらともいえない」「わからない」を選択する率が高くなる傾向にある。

市民活動の調査については、「住民自治活動」と「自治会活動」では用語の意味が違い、回答者の解釈も変わってくる。これにより不満足度の差が出るとも考えられる。

【助言者からのアドバイス】

各自治体の総合計画に関するアンケートの「住みやすさ」「不満足意識」等結果を比較することは、切り口・分析方法としておもしろい。

各調査で比率の大きな違いが出ているのは、(1)設問の内容・選択肢数の違い(2)設問の範囲の違い(市と県の違い、北勢、中勢、伊賀地域の違い)によるものと考えられる。

(5) 平成22年度一万人アンケートの見直しについて

・・・別添資料4(29p~45p)

【説明】

住民アンケート実践講座で提案された一万人アンケートに対する改善案を参考として、平成22年度から一万人アンケートの見直しを行っている。

見直しとして、ア)回答率の向上を図るために「設問の並び替え」、イ)回答者が答えやすくするために「設問番号を項目毎に設置」、ウ)回答者の誤解を無くすために「定住意向の注釈の削除」、エ)広報の一環として『「美(うま)し国おこし・三重」のシンボルマークの追加』を行った。

【意見】

問1-2、1-3の設問を一つに統一するということも考えられるが、A3用紙の調査票であれば、問1-2、1-3、2-2、2-3にそれぞれ選択項目を記入して、4箇所とし、総16ページとしたとしてもA3用紙4枚で用紙は増えない。

【助言者からのアドバイス】

問1-2と1-3の選択項目にそれぞれ満足・不足を記入して連続性を持たせる等、

もうひと工夫が必要かと思われる。

問 1-1、2-1 の選択肢 4. 「どちらかといえば持っていない」 5. 「持っていない」
を選択肢 1,2 と同様に一列に修正した方が見やすいと思われる。

【結果の反映】

問 1 -2、1-3、2-2、2-3 にそれぞれの選択項目を記入した。

選択項目の内容を回答者が理解しやすくするため、問 1-2「満足している部分」、
1 - 3「不足している部分」を追記し、選択枠を 3 つ設けた。

問 1-1、2-1 の選択肢全体を、縦一列とすることで回答者が見やすく修正した。

3 . 今後の検討予定

来年度に住民アンケート担当者の専門性を高めるための研修を実施し、引き続き
各自治体担当者の基礎知識やノウハウを共有する場づくりに取り組みます。

各アンケート調査一覧表

1. 総合計画に対するアンケート調査

調査名	標本数	回収率	調査対象者	調査方法	設問						
					総設問数 (個人属性設問を除く小問の総数にて計上)	住みやすさ関係 (住)	愛着関係 (愛)	満足・重要意識 関係 (満重)	個別課題関係 (個)	市町県政全般・運営 課題関係 (政)	自由記 入 (自)
津市 第1回市政アンケート調査(平成20年度)	2976人	55.4%	20歳以上の住民(外国人含む)	郵送法	87問	○住みやすい 5択 ○もし今後住み替えるとしたら 8択+その他	/	重要度5問、3項目以内選択 満足度15問、5択	○土地利用5問、4択 ○行政情報サービス15問 ○生活環境7問 ○教育・文化・スポーツ振興13問 ○健康づくり・食育13問	○まちのイメージ 14問、5択(住みやすい含む)	/
四日市市 第36回市政アンケート調査(平成20年度)	5000人	45.1%	20歳以上の住民(外国人含む)	郵送法	56問	○住み続けたい 5択 ○住み続けたいくなるまち理由9択+その他	/	○満足度48問 選択肢6択+1 特に期待する取組	○男女共同参画6択 ○広報8項目中あてはまるもの全て選択 ○議会6項目中あてはまるもの全て選択 ○広聴6項目中1項目選択	○市職員の信頼度 5択	あり
松阪市 松阪市民意識調査(平成17年度)	4000人	49.0%	15歳以上の住民	郵送法	87問	○住み良いところ 5択 理由を3項目以内選択 ○住み続けたい 5択 理由を3項目以内選択	○愛着や親しみ 5択 理由を3項目以内選択	満足度、重要度32問、5択	○生活環境 12問、5択 ○行動範囲4問、8択 ○少子化対策2問、3項目以内選択 ○高齢化対策3問、3項目以内選択 ○防災・災害対策5問 ○環境問題3問 ○地域と行政の関わり4問 ○情報化2問、3項目以内選択	○市政全般 5択	あり
桑名市 桑名市のまちづくりを考える市民意識調査(平成17年度)	3000人	42.4%	18歳以上の住民	郵送法	86問	○住み良さ 5択 ○住み続けたい 4択 ○住みやすいまち理由5項目以内を選択	/	満足度、重要度50問、5択	○産業1問 ○観光1問 ○環境保全1問 ○防犯、防災2問 ○子育て、高齢者福祉2問 ○市政への市民参画2問	○まちのイメージ23問、4択	あり
名張市 名張市総合計画「理想郷プラン」にかかる市民意識調査(平成20年度)	2025人	47.4%	20歳以上の住民	郵送法	50問	○住みごこち5択 ○住み続けたい 6択	/	○満足度9問4択	○地域づくり活動3択 ○市民活動3択 ○環境保全活動参加3択 ○意向調査15問4択 ○状況調査4問4択 ○かかりつけ医有無3択 ○中心市街地魅力3択 ○自然環境意向4択 ○地震備え4択 ○スポーツ状況4択 ○文化芸術鑑賞2択 ○情報発信意向2択 ○歴史知識 クイズ5問2択 ○周辺市町村施設利用3択	○新しい公 2問3択 ○組織機構の評価 5択	あり

各アンケート調査一覧表

調査名	標本数	回収率	調査対象者	調査方法	設問						
					総設問数 (個人属性設問を除く小問の総数にて計上)	住みやすさ関係 (住)	愛着関係 (愛)	満足・重要意識 関係 (満重)	個別課題関係 (個)	市町県政全般・運営 課題関係 (政)	自由記 入 (自)
伊賀市 まちづくりアンケート調査(平成20年度)	2222人	45.9%	18歳から80歳までの住民(外国人含む)	郵送法	69問	/	/	/	○満足・状況認識 健康福祉 11問4択 生活環境 19問4択 教育文化 11問4択 産業振興 7問4択 交流基盤 8問4択 しくみ 12問4択	/	あり
菟野町 町民意識調査(平成16年度)	2000人	39.4%	18歳以上の住民(職員、議員を除く)	配付:区を通じての通送回収:郵送及び、本庁、各支所での窓口回収	39問	○住み心地5択と住みにくい理由	/	○重要度、満足度35問5択	/	○行政改革2設問、3項目以内選択	あり
朝日町 朝日町まちづくりアンケート調査(平成21年度)	2300人	45.2%	20歳以上の住民	配付:区を通じての通送回収:郵送	61問	○住み続けたい4択と理由15項目中3項目以内を選択	○愛着4択 ○魅力15項目中3項目以内を選択	○満足度、重要度5分野44問5択	○生活環境4問 ○教育・文化・スポーツ3問 ○地域活動・ボランティア活動の参画等2問	○今後のまちづくり10項目中2項目以内を選択 ○町民参画・協働のまちづくり 8目中2項目以内を選択 ○まちのキャッチフレーズフリーコメント ○まちづくり委員の募集案内	あり
紀北町 紀北町まちづくりアンケート調査(平成18年度)	2000人	38.7%	20歳以上の住民	郵送法	70問	○住みやすいまち5択と理由15項目中3項目を選択	/	○重要意識 30項目中3項目を選択	○産業の発展6項目中2項目選択 ○農業振興14項目中2項目選択 ○林業振興13項目中2項目選択 ○水産業振興13項目中2項目選択 ○商工業発展9項目中2項目選択 ○保健・医療9項目中2項目選択 ○高齢者福祉対策10項目中2項目選択 ○環境9項目中2項目選択 ○少子化対策11項目中2項目選択 ○消防・防災対策10項目中2項目選択 ○学校教育11項目中2項目選択 ○生涯学習9項目中2項目選択 ○地区活動13項目中2項目選択 ○まちづくりへの住民参加方法8項目中2項目選択 ○高速道路の開通がもたらす効果11項目中2項目選択	○まちのイメージ15項目より2項目選択 ○まちの発展15項目中2項目選択 ○行財政改革20項目中2項目選択 ○行政サービスの水準と住民負担とのバランス5択 ○まちのキャッチフレーズフリーコメント ○(認知意識)遅れている分野を9項目中、2項目選択	あり
三重県 一万人アンケート(平成21年度)	10000人	38.9%	20歳以上の県民	郵送法	63問	○住みやすさ(お住まいの地域)5択、理由を45項目から3項目選択 ○住みたい(お住まいの地域)4択	○愛着5択、理由を45項目からあてはまるもの全てを選択	○重要意識、満足意識44問6択	○美し国・おこし三重の取組3択 ○地域の活動3問 ○人権尊重認知意識4択 ○食の安全認知意識4択	/	あり

各アンケート調査一覧表

2. 施策別アンケート調査

調査名	標本数	回収率	調査対象者	調査方法	設問			
					総設問数（小問の総数にて計上）	満足・重要意識関係（満重）	個人属性・個別課題関係（個）	自由記入（自）
志摩市次世代育成支援に関するニーズ調査（平成20年度）	2000世帯（就学前児童調査1000世帯、就学児童調査1000世帯）	49.6%（就学前児童調査52.4%、就学児童調査46.8%）	志摩市在住の就学前児童をお持ちの世帯、志摩市在住の小学校児童をお持ちの世帯	郵送法	126問（就学前児童調査62問、就学児童調査64問）		<ul style="list-style-type: none"> * 就学前児童調査、就学児童調査共通質問事項 ○家族の状況8問 ○親の就労状況5問 ○病児・病後児の対応3問 ○一時預かり2問 ○宿泊を伴う一時預かり3問 ○ベビーシッターの利用3問、5問 ○ファミリーサポートセンター5問 ○地域子育て支援拠点事業3問 ○仕事と子育て7問 ○子育て支援サービス1問 ○子育ての不安と悩み4問 ○子どもとの外出、遊び場3問 ○少子化問題、施策全般2問 * 就学前児童調査 ○母親の妊娠・出産等4問 ○保育サービスの利用7問 ○土・休日の保育1問 ○医療・安全2問 * 就学児童調査 ○来年度就学予定の児童を持つ保護者1問 ○放課後や休日の過ごし方等8問 ○子どもの安全と健全な育成7問 	
度会町地域交通体系に関するアンケート調査（平成20年度）	2786世帯	22.6%	町内居住15歳以上（高校生）の全住民	配付：町広報誌折込 回収：郵送、FAX、区長預、役場窓口への直接提出	12問	○路線バス満足度7問6択	<ul style="list-style-type: none"> ○お住まいの地区名と最寄りのバス停1問 ○家族全員の日常の交通手段1問 	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな交通（移動）手段1問 ○その他交通体系全般1問
三重県「美（うま）し国おこし・三重」推進室 座談会アンケート調査（平成21年度～）			座談会出席者数	直接配付、直接回収	7問	○座談会役立ち度1問4択と理由	<ul style="list-style-type: none"> ○個人属性3問 ○座談会参加回数1問 ○参加したきっかけ1問 ○活動分野・内容1問 	

各アンケート調査一覧表

3. モニターアンケート調査

調査名	標本数	回収率	調査対象者	調査方法	設問		
					総設問数（小問の総数にて計上）	設問内容（個）	自由記入（自）
亀山市 第4回市政モニターアンケート 「平成22年度行政改革大綱の見直しについて」	47人	89.4%	市政モニター	電子アンケート (郵送、FAX、メール等)	10問	○大綱、実施計画の策定、行政改革の推進認知度2択 ○行政改革の推進を知った手段4択 ○市民サービスの向上に向けた取り組み5択 ○新しい窓口の利用2択と利用サービスの感想7択 ○大綱見直しの課題6択と市民等の意見を反映する最も有効な手段5択+その他	○行政サービスの委託 ○行政サービスの必要性 ○希望する行政サービス
第1回市政モニターアンケート 「レジ袋削減・マイバック推進活動推進事業」	48人	85.4%			10問	○全国的なレジ袋の有料化の展開の認知度2択 ○鈴亀地区のレジ袋有料化の時期の認知度2択 ○レジ袋削減、マイバック推進の必要性の認知意識3択 ○レジ袋削減の実態4択 ○レジ袋を断った際の代用方法3択 ○レジ袋を断る理由5択+その他 ○レジ袋をもらう理由5択+その他 ○レジ袋の有料化開始に伴う実態6択+その他	○レジ袋削減や有料化 ○地球温暖化やごみの減量のために実践していること
三重県IT広聴事業e-モニターアンケート「公共交通の利用について」	1,138人	69%	e-モニター	電子アンケート (ホームページ、メール等)	9問	○鉄道の利用状況5択 ○鉄道の利用目的6択+その他、 ○鉄道を利用しない理由7択+その他 ○バスの利用状況5択 ○バスの利用目的5択+その他 ○バスを利用しない理由7択+その他 ○公共交通利用に便利な情報5択+その他 ○公共交通利用の広報7択+その他 ○「エコ通勤デー」等への参加7択+その他	

「住みやすさ、地域への愛着についての満足意識」による比較検討について

住みやすさ、地域への愛着についての満足意識などの結果について、郵送法による「平成21年度一万人アンケート」とインターネット調査による「e-モニター」（電子アンケート）により比較検討した。

1 アンケートの実施状況

項目	平成21年度一万人アンケート	e-モニター
調査地域・対象	三重県全域、県内居住の20歳以上の男女	三重県全域、県内居住の20歳以上の男女
標本数	10,000人	1,598人
抽出方法	選挙人名簿による無作為抽出	選挙人名簿から、候補者を、性別、年齢層など属性別に均等、かつ無作為に抽出し募集を行い、これにご応募いただいた県民の方々
調査時期	平成21年3月1日～23日	平成21年4月15日～30日
回答者数（有効回答率）	3,888人（38.9%）	1,133人（70.9%）

2 回答者属性

項目		平成21年度一万人アンケート	e-モニター
性別	男性	1,796人（47.7%）	614人（54.2%）
	女性	1,972人（52.3%）	519人（45.8%）
年齢	20歳代	247人（6.6%）	148人（13.1%）
	30歳代	467人（12.4%）	282人（24.9%）
	40歳代	652人（17.3%）	262人（23.1%）
	50歳代	870人（23.1%）	235人（20.7%）
	60歳代	982人（26.1%）	147人（13.0%）
	70歳以上	549人（14.6%）	59人（5.2%）
居住地	北勢	809人（20.8%）	504人（44.5%）
	伊賀	814人（20.9%）	110人（9.7%）
	中南勢	834人（21.5%）	317人（28.0%）
	伊勢志摩	735人（18.9%）	157人（13.9%）
	東紀州	696人（17.9%）	45人（4.0%）

*一万人アンケートの三重県全体の住みやすさ、地域への愛着についての満足意識等については、居住地の回収数に人口に応じた補正値を乗じたうえで算出しています。

項 目		平成21年度一万人アンケート	e - モニター
産 業 ・ 業 種 別	農林漁業	247人(6.7%)	20人(1.8%)
	製造業	542人(14.6%)	169人(14.9%)
	商業・サービス業	754人(20.3%)	188人(16.6%)
	建設・不動産業	188人(5.1%)	72人(6.4%)
	運輸・通信業	149人(4.0%)	43人(3.8%)
	金融・保険関係	-	29人(2.6%)
	医療・福祉関係	276人(7.4%)	68人(6.0%)
	教育・保育関係	162人(4.3%)	49人(4.3%)
	公務員	184人(5.0%)	48人(4.2%)
	学生	-	23人(2.0%)
	無職	1,007人(27.2%)	291人(25.7%)
	その他	197人(5.3%)	133人(11.7%)

* 一万人アンケートの「金融・保険関係」「学生」は標本数が少ないため、その他で計上しています。

3-1 地域別の住みやすさについての評価

選択肢	種別	地 区					
		県全体	北勢	伊賀	中南勢	伊勢志摩	東紀州
とても住みやすい	e-モニター	17.7%	18.7%	10.9%	20.2%	18.5%	2.2%
	一万人アンケート	14.1%	15.0%	8.4%	15.1%	14.7%	9.2%
どちらかといえば住みやすい	e-モニター	54.4%	56.7%	55.5%	56.5%	45.2%	42.2%
	一万人アンケート	57.5%	59.1%	53.7%	59.1%	54.0%	49.0%
計 住みやすい	e-モニター	72.1%	75.4%	66.4%	76.7%	63.7%	44.4%
	一万人アンケート	71.6%	74.1%	62.1%	74.2%	68.7%	58.2%
どちらかといえば住みにくい	e-モニター	10.5%	9.5%	16.4%	7.6%	12.7%	20.0%
	一万人アンケート	11.5%	10.3%	18.6%	8.9%	13.3%	19.0%
住みにくい	e-モニター	2.0%	1.0%	0.9%	2.8%	3.2%	6.7%
	一万人アンケート	2.9%	2.7%	2.5%	3.1%	3.0%	4.3%
計 住みにくい	e-モニター	12.5%	10.5%	17.3%	10.4%	15.9%	26.7%
	一万人アンケート	14.4%	13.0%	21.1%	12.0%	16.3%	23.3%
どちらともいえない	e-モニター	15.4%	14.1%	16.4%	12.9%	20.4%	28.9%
	一万人アンケート	12.0%	11.1%	14.9%	11.2%	13.5%	15.2%
無回答	e-モニター	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	一万人アンケート	2.1%	1.9%	2.1%	2.6%	1.5%	3.3%

* e-モニターでは、無回答を無くすため、選択肢を選択しなければアンケートが完了しない仕組みとなっています。

3-2 住みやすいと感じる点

順位	平成21年度一万人アンケート	e-モニター
1	23. きれいな空気 (32.3%)	20. 自然環境との共生 (11.9%)
2	20. 自然環境との共生 (25.3%)	23. きれいな空気 (11.7%)
3	44. 飲料水の供給 (23.4%)	38. 公共交通機関 (8.5%)
4	18. 医療体制 (16.5%)	17. 子育て環境 (5.9%)
5	37. 道路の整備 (14.8%)	18. 医療体制 (5.5%)

- * 「23. きれいな空気」「20. 自然環境との共生」「18. 医療体制」が共に住みやすいと感じる点として上位5位までに入っています。
- * 割合(%)については、回答いただいた項目数(回答者1人につき3項目まで回答)に対して、一万人アンケートについては、回答者数で、e-モニターについては、回答いただいた総項目数で除して算出しています。(住みにくいとを感じる点も同じ)

3-3 住みにくいとを感じる点

順位	平成21年度一万人アンケート	e-モニター
1	18. 医療体制 (36.4%)	38. 公共交通機関 (19.1%)
2	38. 公共交通機関 (36.3%)	18. 医療体制 (12.5%)
3	31. 雇用 (17.3%)	12. 交通安全 (5.7%)
4	37. 道路の整備 (14.1%)	37. 道路の整備 (5.7%)
5	13. 防犯 (11.3%)	31. 雇用 (5.4%)

- * 「18. 医療体制」「38. 公共交通機関」「31. 雇用」「37. 道路の整備」が共に住みにくいとを感じる点として上位5位までに入っています。
- * なお、一万人アンケートでは、「18. 医療体制」「37. 道路の整備」が、e-モニターでは「38. 公共交通機関」「18. 医療体制」が共に「住みやすい」もしくは「住みにくい」と感じる点として上位5位までに入っています。

4-1 お住まいの地域への愛着についての評価

選択肢	種別	地 区					
		県全体	北勢	伊賀	中南勢	伊勢志摩	東紀州
愛着を持っている	e-モニター	34.8%	35.9%	29.1%	32.5%	40.8%	31.1%
	一万人アンケート	30.8%	29.8%	25.9%	30.8%	36.2%	36.4%
愛着をどちらかといえば持っている	e-モニター	39.1%	37.9%	40.0%	42.6%	36.3%	35.6%
	一万人アンケート	38.6%	39.6%	38.6%	39.8%	34.4%	32.6%
計 愛着を持っている	e-モニター	73.9%	73.8%	69.1%	75.1%	77.1%	66.7%
	一万人アンケート	69.4%	69.4%	64.5%	70.6%	70.6%	69.0%
愛着をどちらかといえば持っていない	e-モニター	4.1%	4.0%	8.2%	2.5%	3.8%	8.9%
	一万人アンケート	5.9%	6.6%	7.5%	4.7%	5.6%	5.6%
愛着を持っていない	e-モニター	1.9%	2.0%	0.9%	2.2%	0.6%	4.4%
	一万人アンケート	2.8%	3.0%	3.2%	2.5%	2.4%	2.3%
計 愛着を持っていない	e-モニター	6.0%	6.0%	9.1%	4.7%	4.4%	13.3%
	一万人アンケート	8.7%	9.6%	10.7%	7.2%	8.0%	7.9%
どちらともいえない	e-モニター	20.1%	20.2%	21.8%	20.2%	18.5%	20.0%
	一万人アンケート	17.7%	17.3%	18.9%	18.5%	17.1%	16.5%
無回答	e-モニター	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	一万人アンケート	4.2%	3.8%	5.9%	3.7%	4.2%	6.6%

* e-モニターでは、無回答を無くすため、選択肢を選択しなければアンケートが完了しない仕組みとなっています。

4-2 愛着を持っていると感じる点

順位	平成21年度一万人アンケート	e-モニター
1	23. きれいな空気 (45.2%)	<u>23. きれいな空気 (11.3%)</u>
2	20. 自然環境との共生 (37.4%)	20. 自然環境との共生 (11.0%)
3	44. 飲料水の供給 (30.6%)	24. 川や海の水質 (5.2%)
4	17. 食の安全 (20.5%)	<u>17. 子育て環境 (5.1%)</u>
5	37. 道路の整備 (19.8%)	18. 歴史・文化遺産 (4.6%)

- * 「23. きれいな空気」「20. 自然環境との共生」が共に愛着を持っていると感じる点として上位5位までに入っています。
- * 割合(%)については、回答いただいた項目数(回答者1人につき当てはまる項目全てを回答)に対して、一万人アンケートについては、回答者数で、e-モニターについては、回答いただいた総項目数で除して算出しています。(愛着を持ってないと感じる点も同じ)

4-3 愛着を持ってないと感じる点

順位	平成21年度一万人アンケート	e-モニター
1	18. 医療体制 (34.8%)	40. 快適なまちづくり (7.5%)
2	38. 公共交通機関 (34.1%)	38. 公共交通機関 (6.9%)
3	13. 防犯 (24.6%)	18. 医療体制 (5.9%)
4	31. 雇用 (21.9%)	<u>23. きれいな空気 (4.9%)</u>
5	40. 快適なまちづくり (21.8%)	3. 学校教育 (4.3%) <u>17. 子育て環境 (4.3%)</u>

- * 「18. 医療体制」「38. 公共交通機関」「40. 快適なまちづくり」が共に愛着を持ってないと感じる点として上位5位までに入っています。
- * なお、e-モニターでは「23. きれいな空気」「17. 子育て環境」が共に「愛着を持っている」もしくは「愛着を持ってない」と感じる点として上位5位までに入っています。

5 今後の定住意向

選択肢	種別	地 区					
		県全体	北勢	伊賀	中南勢	伊勢志摩	東紀州
今の地域に住 み続けたい	e-モニター	64.1%	65.9%	50.9%	68.1%	62.4%	53.3%
	一万人アン ケート	67.7%	68.6%	62.2%	69.3%	66.0%	65.9%
県内の別の地 域に住みたい	e-モニター	9.2%	8.9%	10.0%	9.1%	9.6%	8.9%
	一万人アン ケート	8.1%	8.2%	5.2%	7.3%	10.7%	10.3%
計 県内に住 みたい	e-モニター	73.3%	74.8%	60.9%	77.2%	72.0%	62.2%
	一万人アン ケート	75.8%	76.8%	67.4%	76.6%	76.7%	76.2%
県外に住みた い	e-モニター	5.3%	3.8%	13.6%	4.7%	5.1%	6.7%
	一万人アン ケート	4.4%	3.7%	9.3%	4.0%	3.7%	5.6%
どちらでもよ い、わからない	e-モニター	21.4%	21.4%	25.5%	18.0%	22.9%	31.1%
	一万人アン ケート	18.0%	18.2%	21.7%	17.4%	16.9%	15.9%
無回答	e-モニター	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	一万人アン ケート	1.8%	1.4%	1.6%	2.0%	2.7%	2.2%

* e-モニターでは、無回答を無くすため、選択肢を選択しなければアンケートが完了しない仕組みとなっています。

6 「^{うま}美し国おこし・三重」の認知度

選択肢	種別	地 区					
		県全体	北勢	伊賀	中南勢	伊勢志摩	東紀州
取組の内容を知っている	e-モニター	23.9%	22.8%	21.8%	24.3%	26.8%	28.9%
	一万人アンケート	16.0%	14.1%	11.7%	18.7%	20.1%	16.1%
あまり知らない	e-モニター	59.8%	60.3%	56.4%	60.6%	59.9%	57.8%
	一万人アンケート	59.5%	58.7%	58.6%	61.2%	59.3%	60.1%
知らない	e-モニター	16.2%	16.9%	21.8%	15.1%	13.4%	13.3%
	一万人アンケート	23.4%	26.6%	28.5%	19.1%	18.6%	22.3%
無回答	e-モニター	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	一万人アンケート	1.0%	0.6%	1.2%	1.1%	1.9%	1.6%

* e-モニターでは、無回答を無くすため、選択肢を選択しなければアンケートが完了しない仕組みとなっています。

7 各調査のメリット、デメリット比較

項目	平成21年度一万人アンケート	e-モニター
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い層の方々にアンケートの記入をいただける。 設問内容、設問数を多く設定出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの依頼、回収、分析が早く出来る。 安価に調査が出来る。 回収率が高い。 未回答を防げる。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの依頼、回収、分析に時間がかかる。 費用がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 設問内容、設問数が限定される。 対象はパソコン所有者に限定される。

「住みやすさ、地域への愛着についての満足意識」 に関するアンケート実施報告

「住みやすさ、地域への愛着についての満足意識」に関するアンケートの実施結果を下記のとおりご報告いたします。

アンケートにご協力いただきましたe - モニターの皆さまに厚くお礼を申し上げます。

なお、アンケートの内容及び回答集計については、e - モニターのホームページ(下記リンク先)をご覧ください。

<http://www.e-kocho.pref.mie.jp/monitor/index.html?a=top:result&id=57>

アンケート概要

アンケート実施期間

平成21年4月15日から平成21年4月30日まで

意見募集の結果

対象者数 1,598名

回答者数 1,133名

回答率 70.9%

回答者属性

性別 【男性】614人 54.2% 【女性】519人 45.8%

年代別

【20代】	【30代】	【40代】	【50代】	【60代】	【70代以上】
148名	282名	262名	235名	147名	59名
13.1%	24.9%	23.1%	20.7%	13.0%	5.2%

地域別

【北勢】	【伊賀】	【中南勢】	【伊勢志摩】	【東紀州】
504名	110名	317名	157名	45名
44.5%	9.7%	28.0%	13.9%	4.0%

産業・業種別

農林漁業	20名	1.8%
製造業	169名	14.9%
商業・サービス業	188名	16.6%
建設・不動産業	72名	6.4%
運輸・通信業	43名	3.8%
金融・保険関係	29名	2.6%
医療・福祉関係	68名	6.0%
教育・保育関係	49名	4.3%
公務員	48名	4.2%
学生	23名	2.0%
無職	291名	25.7%
その他	133名	11.7%

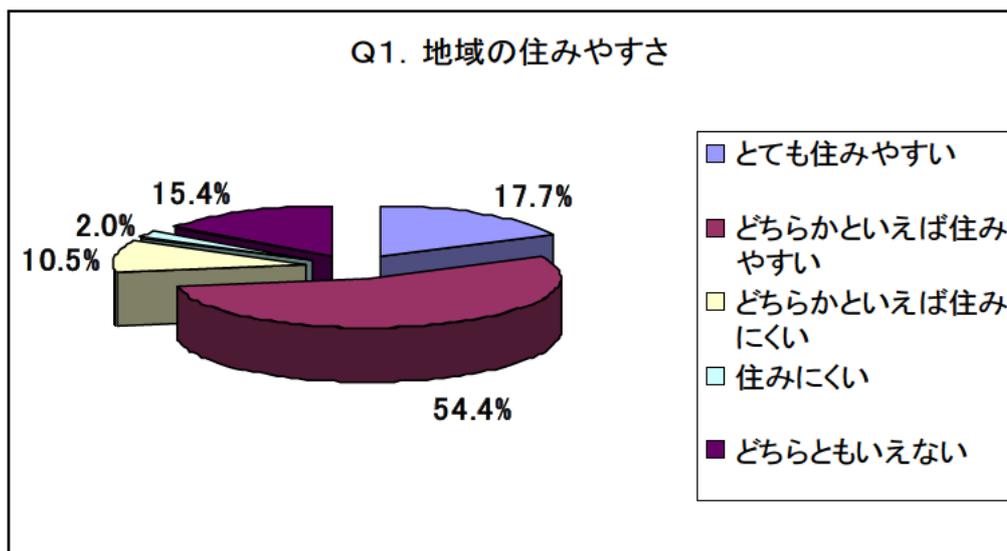
アンケート結果を受けて

設問1 地域の住みやすさ

現在お住まいの地域について、「とても住みやすい」が17.7%、「どちらかといえば住みやすい」が54.4%と「住みやすい」とお答えいただいた方が72.1%でした。

また、「どちらかといえば住みにくい」が10.5%、「住みにくい」が2.0%と「住みにくい」とお答えいただいた方が12.5%でした。

なお、「どちらともいえない」とお答えいただいた方は15.4%となっています。



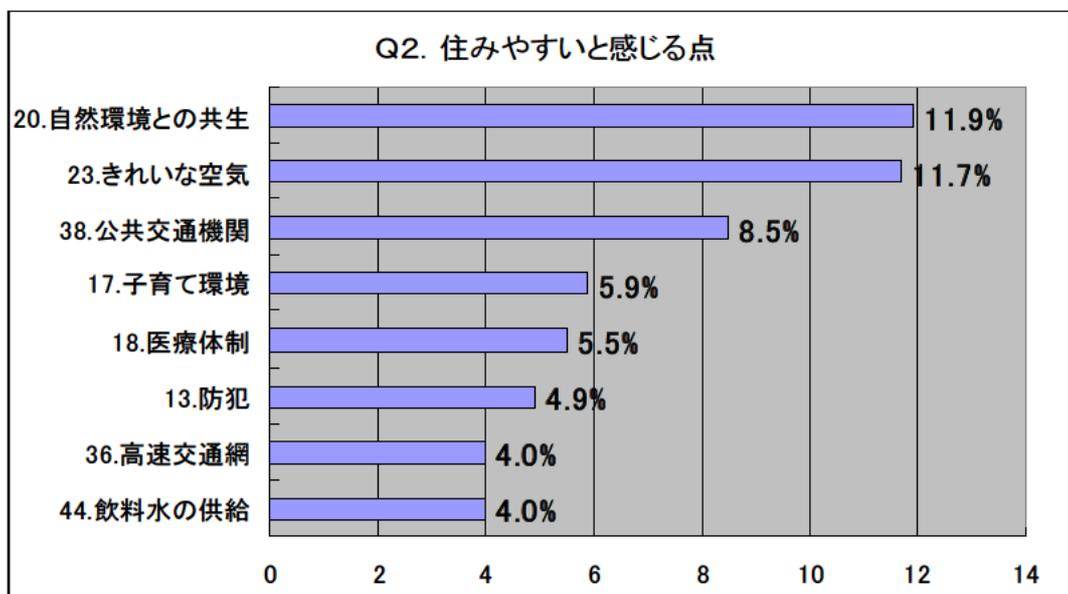
設問2、4 住みやすいと感じる点及び選択した理由

住みやすいと感じている方が満足していると考えられる部分については、「自然環境との共生」が11.9%と最も多く、次いで「きれいな空気」(11.7%)、「公共交通機関」(8.5%)の順となっており、これら3つの項目が他と比較して多くなっています。

上位8項目の内、「自然環境との共生」、「きれいな空気」や「飲料水の供給」の自然環境が3項目、「公共交通機関」や「高速交通網」の交通面が2項目あげられています。

「自然環境との共生」、「きれいな空気」を選択した理由として、「山、川、海などの自然に恵まれ、生活環境が良い。」などの意見がありました。

また、「公共交通機関」を選択した理由としては、「鉄道の駅が近い。バス停留所に近い。本数が多い。」などの意見がありました。

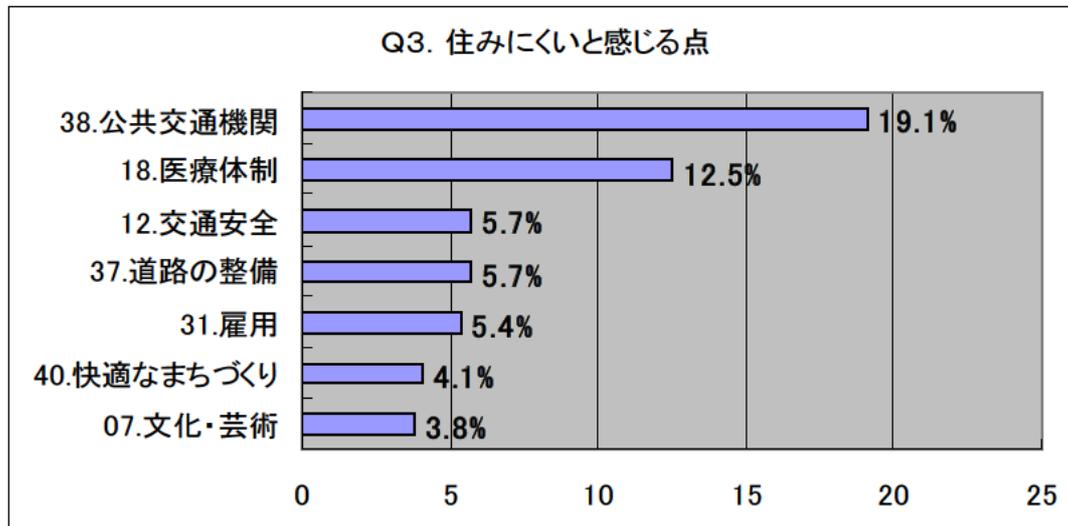


設問3、4 住みにくいと感じる点及び選択した理由

住みにくいと感じる方が不足していると考える部分については、「公共交通機関」が19.1%と最も多く、次いで「医療体制」が12.5%となっており、これら2つの項目が他と比較して多くなっています。これらに次ぐものとしては、「交通安全」(5.7%)、「道路の整備」(5.7%)などがあげられていますが、「公共交通機関」「医療体制」の上位2項目以外で不足していると考える部分については、大きな違いはありませんでした。

「公共交通機関」を選択した理由としては、「駅まで遠い。電車、バスの本数が少ない。料金が高い。」などの意見がありました。

また、「医療体制」を選択した理由としては、「近くに病院がない。救急医療体制が整っていない。」などの意見がありました。

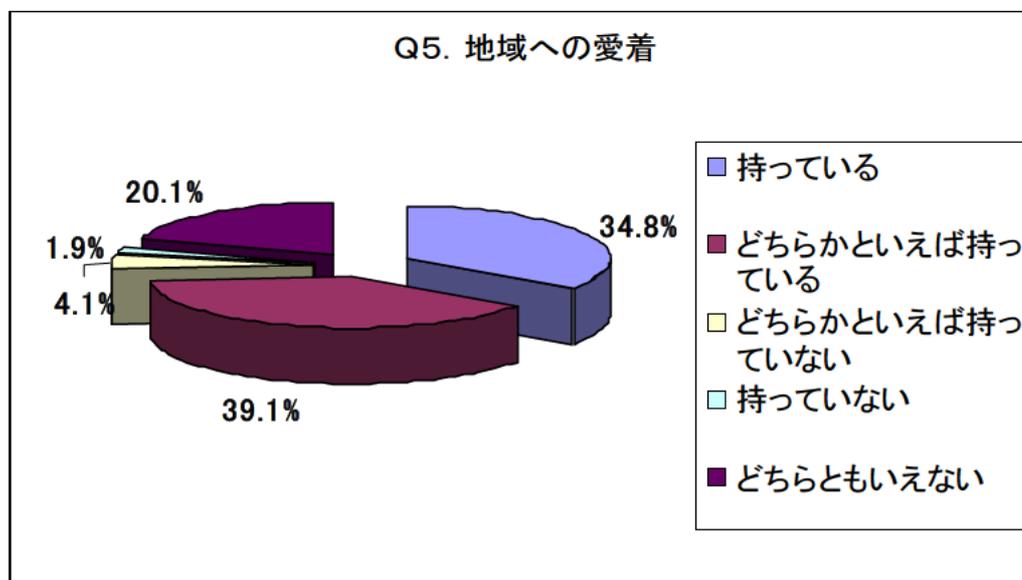


設問5 地域への愛着

現在、地域への愛着について、「持っている」が34.8%、「どちらかといえば持っている」が39.1%と「持っている」とお答えいただいた方が73.9%でした。

また、「どちらかといえば持っていない」が4.1%、「持っていない」が1.9%と「持っていない」とお答えいただいた方が6.0%でした。

なお、「どちらともいえない」とお答えいただいた方は20.1%となっています。

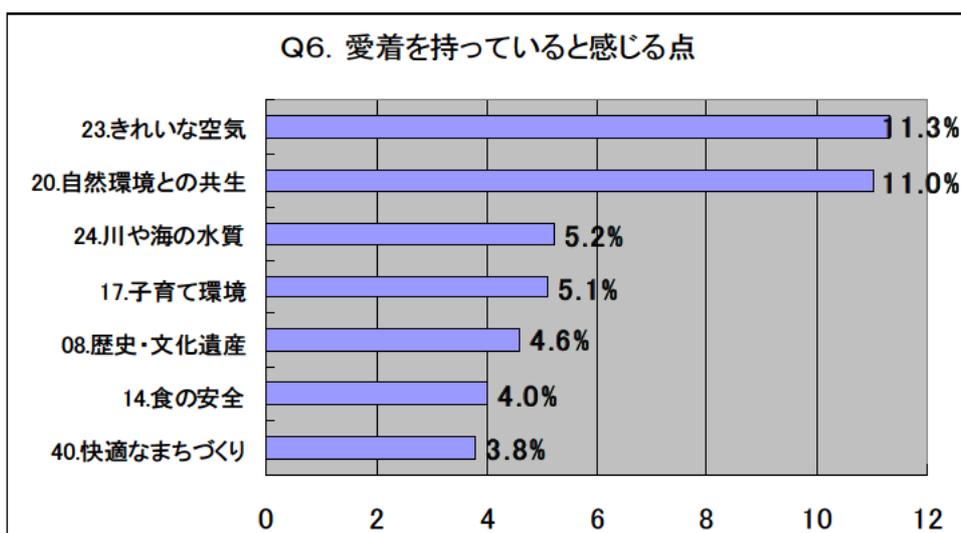


設問6、8 愛着を持っていると感じる点及び選択した理由

愛着を持っていると感じる方が満足していると考える部分については、「きれいな空気」が11.3%と最も多く、次いで「自然環境との共生」(11.0%)の順となっており、これら2つの項目が他と比較して多くなっています。

これらに次ぐものとしては、「川や海の水質」(5.2%)、「子育て環境」(5.1%)などがあげられていますが、「きれいな空気」「自然環境との共生」の上位2項目以外で不足していると考える部分については、大きな違いはありませんでした。

「きれいな空気」「自然環境との共生」を選択した理由としては、「生まれ育った場所で、自然が多い。」などの意見がありました。



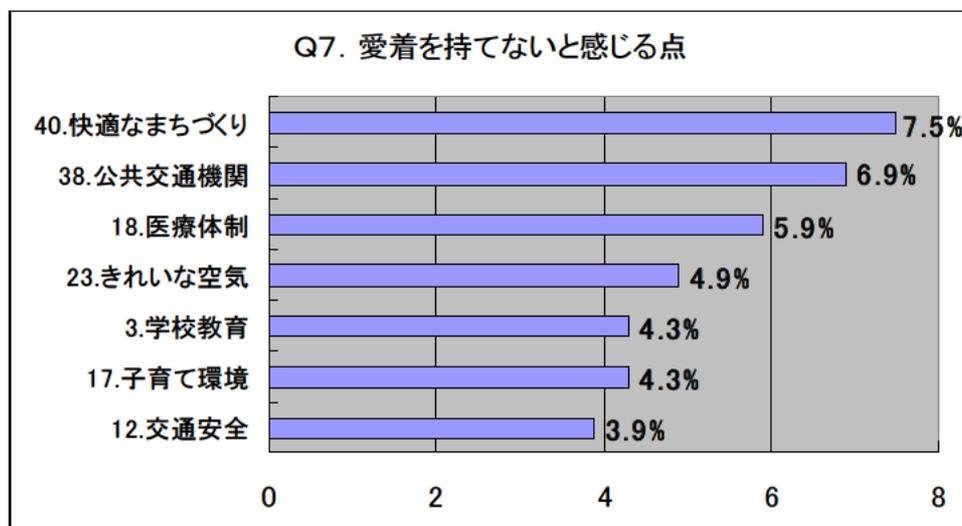
設問7、8 愛着を持っていないと感じる点及び選択した理由

愛着を持っていないと感じる方が不足していると考える部分については、「快適なまちづくり」が7.5%と最も多く、次いで「公共交通機関」(6.9%)、「医療体制」(5.9%)となっており、これら3つの項目が他と比較して多くなっています。

これらに次ぐものとしては、「きれいな空気」(4.9%)、「学校教育」(4.3%)などがあげられていますが、「快適なまちづくり」「公共交通機関」「医療体制」の上位3項目以外で不足していると考える部分については、大きな違いはありませんでした。

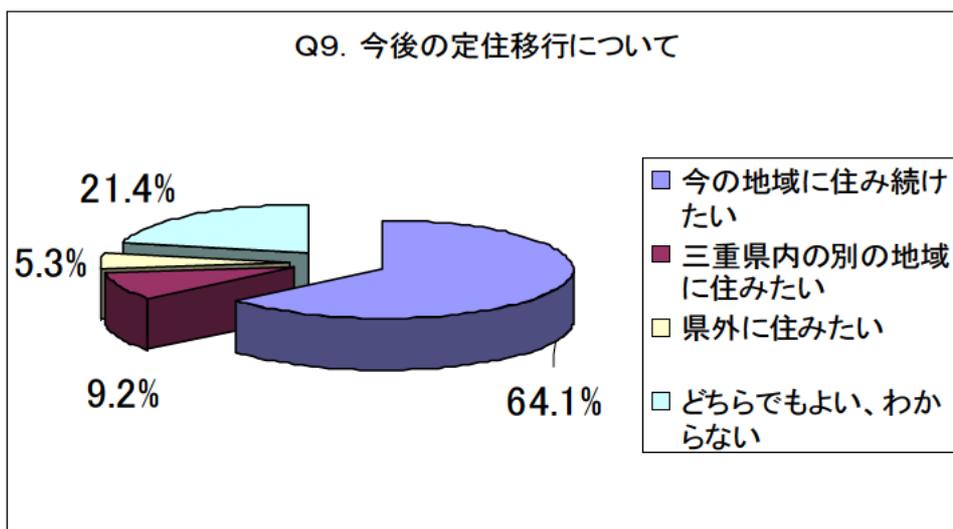
「快適なまちづくり」「公共交通機関」を選択した理由としては、「充実した公共施設がない。公共交通機関が少ない。」などの意見がありました。

「医療体制」を選択した理由としては、「医療機関が充実していない。」などの意見がありました。



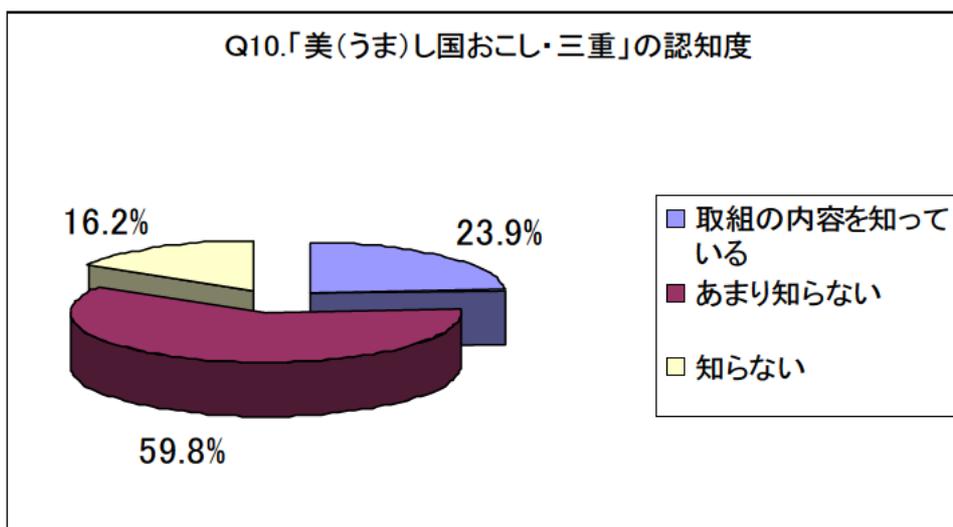
設問9 今後の定住移行について

「今の地域に住み続けたい」と答えた方の割合は64.1%、「三重県内の別の地域に住みたい」と答えた方の割合は9.2%、「県外に住みたい」が5.3%、「どちらでもよい、わからない」が21.4%となっています。



設問10 「美(うま)し国おこし・三重」の認知度について

「美(うま)し国おこし・三重」の取組について、「取組の内容を知っている」が23.9%、「あまり知らない」が59.8%、「知らない」が16.2%となっています。



「住みやすさ」「不滿意識」等結果の比較について

資料3

提出していただいた総合計画に係る該当市町及び三重県一万人アンケートの「住みやすさ」「不滿意識」の結果を比較した。

団体名	三重県	四日市市 (北勢地域)	名張市 (伊賀地域)	伊賀市 (伊賀地域)	津市 (中南勢地域)	
名称	一万人アンケート	第36回市政アンケート	名張市総合計画「理想郷プラン」にかかる市民意識調査	まちづくりアンケート	第1回市政アンケート	
①調査地域・対象	三重県全域、県内居住の20歳以上の男女	四日市市内に居住する20歳以上の市民	名張市内に居住する満20歳以上の男女	伊賀市域全体の18歳から80歳までの市民	20歳以上の津市在住者	
②標本数	10,000人	5,000人	2,025人	2,222人	2,976人	
③抽出方法	選挙人名簿による無作為抽出	永久選挙人名簿登録者と外国人登録法に規定する永住者・特別永住者より無作為抽出	住民基本台帳に基づく無作為抽出	住民基本台帳登録者・外国人登録者より無作為抽出	20歳以上の住民基本台帳登録者及び外国人登録者から無作為抽出	
④調査時期	平成21年3月1日～3月23日	平成20年9月1日～9月30日	平成21年5月8日～5月21日	平成21年2月23日～3月31日	平成20年12月19日～平成21年1月6日	
⑤有効回答者数【有効回答率】	3,888人【38.9%】	2,254人【45.1%】	977人【48.2%】	1,021人【45.9%】	1,650人【55.4%】	
(一万人アンケート地域回答率)		(40.5%)	(40.7%)	(40.7%)	(41.7%)	
⑥満足意識選択肢	6択 ①満足 ②どちらかといえば満足 ③どちらともいえない ④どちらかといえば不満 ⑤不満 ⑥わからない	6択 ①非常に満足している ②満足している ③ふつう ④不満である ⑤非常に不満である ⑥わからない	4択 ①十分満足している ②一応満足している ③やや不満である ④非常に不満である	4択 ①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない	5択 ①満足している ②どちらかといえば満足している ③どちらともいえない ④どちらかといえば不満である ⑤不満である	
設問	住みやすさ関係 (一万人アンケート地域回答率)	お住まいの地域は住みやすいですか。[5択]	住みごこちについてどう思われますか。[5択]	総合的に判断して住みやすい[5択]		
		71.6%	(74.1%)	78.9% (62.1%)	(62.1%)	74.2% (74.2%)
	現在お住まいの地域に住みたいと思いますか。[4択]	住み続けたいと思いますか。[5択]	住み続けたいですか。[6択]	もし今後住み替えるとしたら[8択+その他]		
		75.8%	67.5% (76.8%)	85.7% (67.4%)	(67.4%)	89.0% (76.6%)
道路整備関係	・道路の整備 道路が整備され、快適に移動できること。 ・高速交通網 空港、新幹線、高速道路などの高速交通機関が利用しやすくなり、遠くの地域へ短時間で移動できること。	・市内の道路整備状況 安全でスムーズな道路交通を目指して、主要な骨格をなす幹線道路や生活に身近な道路を整備するとともに、道路舗装や側溝等を適切に維持管理しています。	市内の道路整備や道路環境について	渋滞がなく、市内がスムーズに行き来できる。		
<回答者から見た設問範囲>	<県内の国道、市町道> <県内外の高速道路>	<市道・市内の高速道路、国道、県道>	<市道・市内の国道、県道>	<市道・市内の国道、県道>		
[不滿意識] (一万人アンケート地域回答率)	25.6% (道路の整備) 26.5% (高速交通網)	34.8% (21.9%)	50.5% (33.6%)	41.0% (33.6%)	(24.1%)	
雇用関係	働く意欲のある人にいきいきと働ける場が確保されていること		働く意欲のある人にいきいきと働ける場が確保されていると思う。	・若者も含め、地元に働きたくなるような職場がある ・企業が進出し、雇用の場が増える	働く場が多い。	
<回答者から見た設問範囲>	<県内外の雇用の場>		<市内外の雇用の場>	<市内の雇用の場> <市内外の雇用の場>	<市内外の雇用の場>	
[不滿意識] (一万人アンケート地域回答率)	56.4%	(51.3%)	80.3% (58.1%)	78.0% 【働きたくなるような職場】 76.0% 【雇用の場の増加】 (58.1%)	48.8% (57.4%)	

団体名	三重県	四日市市 (北勢地域)	名張市 (伊賀地域)	伊賀市 (伊賀地域)	津市 (中南勢地域)	
名称	一万人アンケート	第36回市政アンケート	名張市総合計画「理想郷プラン」にかかる市民意識調査	まちづくりアンケート	第1回市政アンケート	
設 問	医療体制関係	病状に応じて、身近なところで適切な医療が受けられること	・市立病院 地域で信頼される医療を目指して、最新の医療機器や専門医による質の高い医療、充実した看護体制、365日24時間対応の救急医療を提供しています。	地域医療機関(開業医や公立病院等)での、現在の医療体制について	遠くまで行かなくても、高度医療の病院の治療を受けることができる。	医療機関が充実している
	<回答者から見た設問範囲>	<県内の医療体制>	<特定の医療機関の体制>	<市内外の医療体制>	<市内外の医療体制>	<市内の医療体制>
	[不満足] (一万人アンケート地域回答率)	45.5%	22.7% (42.4%)	69.4% (60.5%)	74.0% (60.5%)	24.8% (39.6%)
	子育て環境関係	子どもを安心して生み育てられる環境が充実していること	・子育て相談、支援事業の充実 子育てに不安があるときなどに相談できるよう、子育て支援センターを開設しています。子どもの遊び場を提供したり、保護者同士が交流できるよう、保育園で「遊ぼう会」を実施しています。 働きながらの子育てを支援するため、病気回復期の子どもを預かることのできる、病児保育室「カンガルーム」を開設しています。		地域ぐるみで、子どもやお年寄りを見守り、声をかけられる雰囲気、関係性、取り組みができています。	・子育て支援、保育サービスなど児童福祉を充実させる。 ・一人親家庭への支援など母子・父子福祉を充実させる。
	<回答者から見た設問範囲>	<県内の子育て環境>	<市の取組>		<市の取組、市内の子育て環境>	<市の取組> <市の取組>
	[不満足] (一万人アンケート地域回答率)	38.9%	11.3% (37.2%)	(44.5%)	59.0% (44.5%)	21.9%【児童福祉】 18.7%【一人親家庭】 (36.3%)
	福祉サービス関係	高齢者・障害者の介護、在宅支援などの福祉サービスが利用しやすいこと	・介護保険サービスの充実 高齢者の自立や家族の介護負担の軽減を目的に、様々なサービスを提供したり、身近な相談窓口を設けています。 ・障害福祉サービスの提供 障害のある人が地域で生活をするために、介護や訓練、用具の支給、相談などの障害福祉サービスを提供しています。	保健福祉サービスにかかる市の情報提供や相談体制について	介護を真に受けるべき人が、速やかに介護を受けられる。	・高齢者の福祉サービスを充実させる。 ・福祉の面で安心できる
	<回答者から見た設問範囲>	<県内の福祉サービス>	<市の取組、市内の福祉サービス>	<市の取組>	<市内外の福祉サービス>	<市の取組、市内外の福祉サービス> <市の取組、市内外の福祉サービス>
	[不満足] (一万人アンケート地域回答率)	29.6%	21.8%【介護保険サービス】 16.9%【障害者福祉サービス】 (30.9%)	43.4% (29.8%)	73.0% (29.8%)	23.5%【高齢者福祉】 33.7%【福祉の安心】 (28.1%)
	地域商工業関係	・地域商工業 地域の中小企業や商店街が活気に満ちていること ・産業振興 新しい分野の産業や企業の育成、先端企業の誘致などにより県内産業が活性化していること	・商業の振興 中心市街地を活性化するため、商店街の、魅力アップや空店舗への出店を支援しています。 ・産業の再生・高度化 臨海部工業地帯や中小企業の振興を図るため、設備投資の促進や研究開発人材育成などを支援しています。		・全国の人が、伊賀の特産物を認めている。 ・身近な地域で日常の買い物が済ませられる。	日常の買い物が便利である。
<回答者から見た設問範囲>	<県内の地域商工業の状況> <県内の産業振興>	<市の取組、市内の地域商工業の状況>		<市の取組、市内外の地域商工業の状況> <市内外の地域商工業の状況>	<市内外の地域商工業の状況>	
[不満足] (一万人アンケート地域回答率)	62.2%【地域商工業】 28.6%【産業振興】	37.0%【商業の振興】 13.7%【産業の再生・高度化】 (59.8%)	(58.9%)	52.0%【特産物】 29.0%【買い物】 (58.9%)	23.9% (64.8%)	

団体名	三重県	四日市市 (北勢地域)	名張市 (伊賀地域)	伊賀市 (伊賀地域)	津市 (中南勢地域)	
名称	一万人アンケート	第36回市政アンケート	名張市総合計画「理想郷プラン」にかかる市民意識調査	まちづくりアンケート	第1回市政アンケート	
設問	ごみの減量関係	職場や家庭から出るゴミが少ないこと。	・ごみ減量の推進 ごみの減量や分別を進めるため、各地域や小学校にてごみだし説明会を開いたり、ごみガイドブックを市内各世帯に配布しています。	市内のごみの処理(収集・焼却・分別・ごみ出し等)は適切に行われていると思う。	ごみを出さないようにするという意識を皆が持っている。	
	<回答者から見た設問範囲>	<県内のゴミ減量状況>	<市の取組、市内のゴミ減量状況>	<市の取組、市内のゴミ減量状況>	<市内のゴミ減量状況>	
	[不満足] (一万人アンケート地域回答率)	30.8%	18.3% (32.3%)	29.5% (26.2%)	57.0% (26.2%)	(31.2%)
	地域での防災の取組関係	地震・津波、風水害などの自然災害に対して地域での自主的な備えができていること	・防災対策の推進 災害に備え、防災に関する意識啓発や様々な補助制度により、自主防災組織の活動支援や木造住宅等の耐震化を進めています。 また、平成20年11月から市役所内に災害対策本部室を常設するなど危機管理体制を強化していきます。		災害が起こっても、被害が最小限に抑えられる。	
	<回答者から見た設問範囲>	<県内の防災状況>	<市の取組、市内の防災状況>		<市の取組、市内の防災状況>	
	[不満足] (一万人アンケート地域回答率)	34.8%	14.4% (34.1%)	(34.6%)	59.0% (34.6%)	(36.7%)
	公共交通機関関係	バス、鉄道などの公共交通機関が利用しやすいこと	・公共交通の便利さ 電車やバスなどの公共交通機関の便利さを維持するため、市内3路線で自主運行バスを運行しています。	公共交通など市内の交通環境について	・市外への交通アクセス手段があり、地元から通勤通学できる。 ・利用したい層の望みに合う形で、巡回バスが十分に利用されている。	交通の便がよい。
	<回答者から見た設問範囲>	<県内の公共交通機関>	<市の取組、市内の公共交通機関>	<市内の公共交通機関>	<市内外の公共交通機関> <市の取組、市内の公共交通機関>	<市内外の公共交通機関>
	[不満足] (一万人アンケート地域回答率)	46.9%	35.3% (45.9%)	59.0% (51.7%)	58.0%【交通アクセス】 74.0%【巡回バス】 (51.7%)	41.7% (44.2%)
	市民活動	NPOやボランティアなどの活動、自治会やPTA等の地域活動など、様々な社会活動に参加しやすいこと	・市民全体のまちづくり 自分たちのまちを住みよくするために市民自ら取り組む活動を支援し、市民と行政が協働するまちづくりを進めています。	自らの人生を楽しく豊かにするために「生涯学習」といわれる自ら進んで行う学習や文化活動、趣味などに取り組んでいる。 (生涯学習の成果を活かしたボランティア活動を含む)住民自治活動が活発である。	住民自治活動が活発である。	ボランティアの育成など地域での福祉活動を充実する。
	<回答者から見た設問範囲>	<県内の市民活動>	<市の取組、市内の市民活動>	<市の取組、市内の市民活動>	<市の取組、市内の市民活動>	<市の取組、市内の市民活動>
	[不満足] (一万人アンケート地域回答率)	15.5%	11.4% (15.5%)	56.6% (15.7%)	47.0% (15.7%)	20.0% (16.3%)
観光	地域の名勝や特産品などの観光資源に魅力を感じて、たくさんの人が三重県を訪れること	・観光・コンベンションにぎわいと魅力あるまちづくりを進めるため、四日市まつり、花火大会、サイクル・スポーツ・フェスティバル等各種イベントを支援しています。 市外から多くの人に来ていただくため、市内でのコンベンション(会議や大会等)の開催を支援します。		観光客が増えている。		
<回答者から見た設問範囲>	<県内の観光>	<市の取組、市内の観光>		<市内の観光>		
[不満足] (一万人アンケート地域回答率)	24.6%	20.4% (22.7%)	(21.6%)	61.0% (21.6%)	(24.1%)	

北勢地域:桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町、四日市市、菰野町、朝日町、川越町、鈴鹿市、亀山市

伊賀地域:伊賀市、名張市

中南勢地域:津市、松阪市、多気町、明和町、大台町

伊勢志摩地域:伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町

東紀州地域:尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町

一万人アンケートの見直しについて

1. 回答率の向上を図るための修正

①設問の順番を修正【32p～45p】

(以前) 分野別【各項目の重要・満足意識】→住みやすさ→地域への愛着



(変更後) 住みやすさ→地域への愛着→分野別【各項目の重要・満足意識】

また、フリーコメントを最後に設置

* 答えやすく、重要な設問を先に持ってくることで回答率の向上を図る。

②回答者の宛先を記入【31p】

回答者の宛先として、「県民の皆様へ」を追加記入

* 良い第一印象を持ってもらうことで回答率の向上を図る。

③回答時期の変更【31p】

3月下旬の回答期限を3月中旬に変更

* 年度末の繁忙期を極力避けることで回答率の向上を図る。

2. 回答者が答えやすくするための修正

①設問番号を項目毎に設置【32p～36p】

「住みやすさ」「地域への愛着」「定住意向」「美(うま)し国おこし・三重」の設問番号を個々に設置(以前は、1つの設問番号で枝版処理)

* 設問番号を分割することで理解しやすい調査票とする。

②「美(うま)し国おこし・三重」の取組内容を設問の後に設置【36p】

* 取組内容を理解したうえで回答を促す。

③標準記入時間を記入【31p】

想定される標準の回答時間25分を記入

* 予想記入時間を記入することでアンケートにすぐに取り掛かってもらえるよう導く。

3. 回答者の誤解を無くするための修正

①定住意向の注釈の削除(未回答を減らすための修正)【36p】

※ 家庭の事情などによるやむを得ない転居は除いてください。

* 誤解を生みやすい注釈を削る。

4. 広報の一環としての修正

①「美(うま)し国おこし・三重」のシンボルマークを記載【46p】

→シンボルマークの解説も併せて記載する。

5. その他

①くどい表現の修正【32p～45p】

「あなた」の表現を各設問冒頭部分のみに修正

一万人アンケートご協力のお願い

県民の皆さまへ

日頃は、県政の推進に格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
三重県では、県行政の各分野での県民の皆さまのニーズを把握し、県政運営に反映していくことが重要と考え、毎年一万人の方にアンケート調査をお願いしております。
ぜひとも、あなたのご意見をお伺いしたいと思っておりますので、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

三重県知事 聖名昭彦

【ご記入にあたって】

- あて名のご本人がお答えいただくようお願いいたします。事情によりご本人がお答えできない場合は、回答や返送の必要はございません。(標準記入時間約25分)
- 黒のボールペンか、鉛筆ではっきり記入してください。
- 回答は全て統計的に処理し、**ご提供いただいた情報は厳正に管理します。**
また、お名前や個別の回答内容が公表されることは一切ありません。
- このアンケートは無記名式です。お名前、ご住所を記入いただく必要はございません。
なお、ご回答いただきました方の中から、**抽選で500名の方に500円分の商品券(図書カード)を差し上げます。**
ご応募いただく場合は、お名前、ご住所を記入いただく必要がありますが、アンケートの統計処理や他の目的には利用いたしません。



アンケート用紙は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

平成22年3月12日(金)までに

ご投函くださいますようお願いいたします。

※ このアンケートについてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

三重県政策部企画室 担当 山岡(やまおか)、水谷(みずたに)

〒514-8570 三重県津市広明町13番地

電話 059-224-2062 FAX 059-224-2069

E-mail: kikakuk@pref.mie.jp

1. 住みやすさについての質問

問1-1 あなたにとって、現在お住まいの地域は住みやすいですか。(〇は1つ)

- 1. とても住みやすい
- 2. どちらかといえば住みやすい
- 3. どちらともいえない
- 4. どちらかといえば住みにくい
- 5. 住みにくい

【問1-1で、1.「とても住みやすい」または2.「どちらかといえば住みやすい」に○をつけた方だけにおうかがいします。】

問1-2 現在お住まいの地域が住みやすいとお感じになるのは、どの部分に満足しているからですか。以下の表の中から3つまで選んで番号を回答欄に記入してください。

「満足している部分」の回答欄			
----------------	--	--	--

「満足している部分」の選択項目(3つまで)

- | | | |
|-------------------|--------------|--------------------------------|
| 1. 人権尊重 | 16. 保健予防体制 | 31. 雇用 |
| 2. 生涯学習 | 17. 子育て環境 | 32. 職業能力開発 |
| 3. 学校教育 | 18. 医療体制 | 33. 国際化 |
| 4. 青少年の健全育成 | 19. 福祉サービス | 34. 広域交流・連携 |
| 5. 高等教育機関 | 20. 自然環境との共生 | 35. 情報ネットワーク |
| 6. 市民活動 | 21. 希少な生物 | 36. 高速交通網 |
| 7. 文化・芸術 | 22. ごみの減量 | 37. 道路の整備 |
| 8. 歴史・文化遺産 | 23. きれいな空気 | 38. 公共交通機関 |
| 9. スポーツ・レクリエーション | 24. 川や海の水質 | 39. 港の整備 |
| 10. 地域での防災の取組 | 25. 地球温暖化防止 | 40. 快適なまちづくり |
| 11. 災害対策 | 26. 農林水産業の振興 | 41. 農山漁村づくり |
| 12. 交通安全 | 27. 産業振興 | 42. 過疎地域等の振興 |
| 13. 防犯 | 28. 観光 | 43. エネルギー |
| 14. 食の安全 | 29. 技術開発 | 44. 飲料水の供給 |
| 15. 高齢者、障がい者の社会参加 | 30. 地域商工業 | 45. その他【下の()欄に具体的に記入してください。】↓ |
45. その他(具体的に: _____)

項目の内容については、6P～10Pの分野別の質問に記載してあります。

【問1 - 1で、4 .「どちらかといえば住みにくい」または5 .「住みにくい」に○をつけた方だけにおうかがいします。】

問1 - 3 現在お住まいの地域が住みにくいとお感じになるのは、どの部分が不足しているからですか。以下の表の中から3つまで選んで番号を回答欄に記入してください

「不足している部分」の回答欄			
----------------	--	--	--

「不足している部分」の選択項目(3つまで)

- | | | |
|--------------------|---------------|--------------------------------|
| 1 . 人権尊重 | 16 . 保健予防体制 | 31 . 雇用 |
| 2 . 生涯学習 | 17 . 子育て環境 | 32 . 職業能力開発 |
| 3 . 学校教育 | 18 . 医療体制 | 33 . 国際化 |
| 4 . 青少年の健全育成 | 19 . 福祉サービス | 34 . 広域交流・連携 |
| 5 . 高等教育機関 | 20 . 自然環境との共生 | 35 . 情報ネットワーク |
| 6 . 市民活動 | 21 . 希少な生物 | 36 . 高速交通網 |
| 7 . 文化・芸術 | 22 . ごみの減量 | 37 . 道路の整備 |
| 8 . 歴史・文化遺産 | 23 . きれいな空気 | 38 . 公共交通機関 |
| 9 . スポーツ・レクリエーション | 24 . 川や海の水質 | 39 . 港の整備 |
| 10 . 地域での防災の取組 | 25 . 地球温暖化防止 | 40 . 快適なまちづくり |
| 11 . 災害対策 | 26 . 農林水産業の振興 | 41 . 農山漁村づくり |
| 12 . 交通安全 | 27 . 産業振興 | 42 . 過疎地域等の振興 |
| 13 . 防犯 | 28 . 観光 | 43 . エネルギー |
| 14 . 食の安全 | 29 . 技術開発 | 44 . 飲料水の供給 |
| 15 . 高齢者、障がい者の社会参加 | 30 . 地域商工業 | 45 . その他【下の()欄に具体的に記入してください。】 |
45. その他(具体的に: _____)

項目の内容については、6 P ~ 10 P の分野別の質問に記載してあります。

2. 地域への愛着についての質問

問2-1 あなたは、現在お住まいの地域に愛着をお持ちですか。(〇は1つ)

1. 持っている
2. どちらかといえば持っている
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば持っていない
5. 持っていない

【問2-1で、1.「愛着を持っている」または2.「愛着をどちらかといえば持っている」に〇をつけた方だけにおうかがいします。】

問2-2 現在お住まいの地域に愛着を持っているとお感じになるのは、どの項目によるものですか。以下の中からあてはまるもの全てに〇をつけてください。

「愛着を持っている」と感じる理由の選択項目(あてはまるもの全てに〇)

- | | | |
|-------------------|--------------|--------------------------------|
| 1. 人権尊重 | 16. 保健予防体制 | 31. 雇用 |
| 2. 生涯学習 | 17. 子育て環境 | 32. 職業能力開発 |
| 3. 学校教育 | 18. 医療体制 | 33. 国際化 |
| 4. 青少年の健全育成 | 19. 福祉サービス | 34. 広域交流・連携 |
| 5. 高等教育機関 | 20. 自然環境との共生 | 35. 情報ネットワーク |
| 6. 市民活動 | 21. 希少な生物 | 36. 高速交通網 |
| 7. 文化・芸術 | 22. ごみの減量 | 37. 道路の整備 |
| 8. 歴史・文化遺産 | 23. きれいな空気 | 38. 公共交通機関 |
| 9. スポーツ・レクリエーション | 24. 川や海の水質 | 39. 港の整備 |
| 10. 地域での防災の取組 | 25. 地球温暖化防止 | 40. 快適なまちづくり |
| 11. 災害対策 | 26. 農林水産業の振興 | 41. 農山漁村づくり |
| 12. 交通安全 | 27. 産業振興 | 42. 過疎地域等の振興 |
| 13. 防犯 | 28. 観光 | 43. エネルギー |
| 14. 食の安全 | 29. 技術開発 | 44. 飲料水の供給 |
| 15. 高齢者、障がい者の社会参加 | 30. 地域商工業 | 45. その他【下の()欄に具体的に記入してください。】↓ |
| 45. その他(具体的に: | |) |

項目の内容については、6P～10Pの分野別の質問に記載してあります。

【問2 - 1で、4 .「愛着をどちらかといえば持っていない」または5 .「愛着を持っていない」に○をつけた方だけにおうかがいします。】

問2 - 3 現在お住まいの地域に愛着を持ってないとお感じになるのは、以下のどの項目によるものですか。以下の中からあてはまるもの全てに○をつけてください。

「愛着を持ってない」と感じる理由の選択項目(あてはまるもの全てに)

- | | | |
|--------------------|---------------|--|
| 1 . 人権尊重 | 16 . 保健予防体制 | 31 . 雇用 |
| 2 . 生涯学習 | 17 . 子育て環境 | 32 . 職業能力開発 |
| 3 . 学校教育 | 18 . 医療体制 | 33 . 国際化 |
| 4 . 青少年の健全育成 | 19 . 福祉サービス | 34 . 広域交流・連携 |
| 5 . 高等教育機関 | 20 . 自然環境との共生 | 35 . 情報ネットワーク |
| 6 . 市民活動 | 21 . 希少な生物 | 36 . 高速交通網 |
| 7 . 文化・芸術 | 22 . ごみの減量 | 37 . 道路の整備 |
| 8 . 歴史・文化遺産 | 23 . きれいな空気 | 38 . 公共交通機関 |
| 9 . スポーツ・レクリエーション | 24 . 川や海の水質 | 39 . 港の整備 |
| 10 . 地域での防災の取組 | 25 . 地球温暖化防止 | 40 . 快適なまちづくり |
| 11 . 災害対策 | 26 . 農林水産業の振興 | 41 . 農山漁村づくり |
| 12 . 交通安全 | 27 . 産業振興 | 42 . 過疎地域等の振興 |
| 13 . 防犯 | 28 . 観光 | 43 . エネルギー |
| 14 . 食の安全 | 29 . 技術開発 | 44 . 飲料水の供給 |
| 15 . 高齢者、障がい者の社会参加 | 30 . 地域商工業 | 45 . その他【下の()欄
に具体的に記入して
ください。】 |
| 45 . その他(具体的に : | |) |

項目の内容については、6 P ~ 10 P の分野別の質問に記載してあります。

3. 定住意向についての質問

問3 あなたは今後も現在お住まいの地域に住みたいと思いますか。(〇は1つ)

1. 今の地域に住み続けたい
2. 三重県内の別の地域に住みたい
3. 県外に住みたい
4. どちらでもよい、わからない

4. 「^{うま}美し国おこし・三重」の取組についての質問

問4 三重県では、2009年(平成21年)から2014年(平成26年)までの6年間にわたって、「^{うま}美し国おこし・三重」の取組を展開していきます。あなたは、「^{うま}美し国おこし・三重」の取組をどの程度ご存知ですか。(〇は1つ)

1. 取組の内容を知っている
2. あまり知らない
3. 知らない

^{うま}「美し国おこし・三重」

三重県では、「みえの文化力」を生かす先導的な取組として、地域の多様な主体が参画する実行委員会を設置し、2009年(平成21年)から2014年(平成26年)までの6年間にわたって、県内全域で「^{うま}美し国おこし・三重」の取組を展開していきます。

この取組は、地域資源の持つ多面的な価値に着目して、その地域ならではの埋もれた魅力の再発見、磨きあげを行うとともに、県内各地で既に展開されている地域づくり、まちづくりの取組をさらに加速させ、自立・持続可能な地域づくりにつなげていくものです。

そして、この取組を契機として、今後、三重県全域で継続的に、人と人、人と地域、人と自然の“絆”を深め、この地で暮らしたい、暮らし続けたい、訪れたいと感じることができるような「^{うま}美し国・三重」へとさらに磨きをかけていきます。

「^{うま}美し国おこし・三重」ホームページ <http://www.pref.mie.jp/UMASHI/HP/>

5. 分野別の質問

問5-1 以下に掲げたそれぞれの項目は、三重県が目指すべき社会の状態を表しています。
あなたは、これらのことをどのくらい重要と感じますか。

また、こうした社会を目指すにあたっての現在の行政の取組に対してどのくらい満足
されていますか。

分野は44項目、5ページ分あります。項目数が多くなり申し訳ありませんが、記入例
にしたがい、重要意識、満足意識それぞれに○を1つずつつけてください。

		重要意識						満足意識						
		重要	どちらかといえ ば重要	どちらともい えない	どちらかとい えば重要でない	重要でない	わからない	満足	どちらかとい えば満足	どちらともい えない	どちらかとい えば不満	不満	わからない	
【記入例】	家族がそれぞれ自分の部屋を 持てるような家に住むことが できること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
1. 人権尊重	性別、出身地、障がいの有無 などによる差別がなく、一人 ひとりの人権が尊重され、個性 や能力が十分発揮できること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
2. 生涯学習	誰もが興味や必要に応じて、 図書館や博物館、講座などで 学ぶことができる環境が 整っていること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
3. 学校教育	児童生徒一人ひとりに基礎・ 基本の学力が定着し、自ら 学び、考え、判断する力が身に 付いていること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
4. 青少年の 健全育成	青少年が犯罪や非行に走る ことなく、自立性や社会性を身 につけ健全に育っていること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
5. 高等教育 機関	県内の大学など高等教育機関 において、魅力ある教育や研究 が行われていること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
6. 市民活動	NPOやボランティアなどの 活動、自治会やPTA等の地域 活動など、様々な社会活動に 参加しやすいこと。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6

		重要意識							満足意識					
		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	わからない		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	わからない
7. 文化・芸術	音楽、美術などの様々な芸術や文化と直接触れ親しめる機会が多いこと。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
8. 歴史・文化遺産	文化財や伝統行事などの様々な文化遺産が守られ、地域づくり等に積極的に活用されていること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
9. スポーツ・レクリエーション	スポーツやレクリエーションを楽しむための機会や施設が充実していること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
10. 地域での防災の取組	地震・津波、風水害などの自然災害に対して地域での自主的な備えができていていること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
11. 災害対策	洪水や高潮、土砂災害などに備える堤防や砂防ダムなどの施設が整備され、自然災害による被害を最小限におさえられること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
12. 交通安全	交通ルールが守られ、誰もが安全にかつ安心して道路を通行できる環境になっていること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
13. 防犯	犯罪などに対する不安を感じることなく、安心して生活ができること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
14. 食の安全	安心して食べられる食品が安定的に供給されていること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
15. 高齢者、障がい者の社会参加	高齢者や障がい者が就労や趣味の集いなど、様々な社会参加ができること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
16. 保健予防体制	感染症の発生、まん延や生活習慣病の不安を感じることなく生活できること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
17. 子育て環境	子どもを安心して産み育てられる環境が充実していること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
18. 医療体制	病状に応じて、身近なところで適切な医療が受けられること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6

		重要意識						→	満足意識					
		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	わからない		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	わからない
19. 福祉サービス	高齢者・障がい者の介護、在宅支援などの福祉サービスが利用しやすいこと。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
20. 自然環境との共生	身近に触れあうことのできる豊かな自然環境があること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
21. 希少な生物	希少な野生動物や植物が保護されていること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
22. ごみの減量	職場や家庭から出るゴミが少ないこと。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
23. きれいな空気	空気が汚染されておらず、きれいであること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
24. 川や海の水質	川や海などの水が汚染されておらず、きれいであること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
25. 地球温暖化防止	温暖化の原因となる二酸化炭素などのガスについて、企業や家庭からの排出がおさえられたり、森林による吸収が高められていること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
26. 農林水産業の振興	農林水産業の担い手が育ち、産業として活発であること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
27. 産業振興	新しい分野の産業や企業の育成、先端企業の誘致などにより県内産業が活性化していること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
28. 観光	地域の名勝や特産品などの観光資源に魅力を感じてたくさんの方が三重県を訪れること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
29. 技術開発	県内産業の発展のため、様々な分野での研究開発が進んでいること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
30. 地域商工業	地域の中小企業や商店街が活気に満ちていること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6

		重 要 意 識							満 足 意 識					
		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	わからない		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	わからない
31. 雇用	働く意欲のある人にいきいきと働ける場が確保されていること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
32. 職業能力開発	社会の変化に対応した職業能力を身につける機会が確保されていること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
33. 国際化	様々な国の人々と互いに理解し合いながら、交流、共生できること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
34. 広域交流・連携	環境や防災など近隣府県等と共同で取り組むことが効果的な分野において、県境を越えた様々な交流・連携が行われていること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
35. 情報ネットワーク	ケーブルテレビ網やインターネットなどを利用して様々な情報を得ることができること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
36. 高速交通網	空港、新幹線、高速道路などの高速交通機関が利用しやすくなり、遠くの地域へ短時間で移動できること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
37. 道路の整備	道路が整備され、快適に移動できること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
38. 公共交通機関	バス、鉄道などの公共交通機関が利用しやすいこと。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
39. 港の整備	港が整備され、多くの船や人々が利用していること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
40. 快適なまちづくり	段差のない公共的施設、公園や歩道など、快適で暮らしやすいまちづくりが行われていること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
41. 農山漁村づくり	農山漁村の生活基盤が整備され、住民や訪れた人々にとって魅力がある地域になっていること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6

		重 要 意 識						→	満 足 意 識					
		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	わからない		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	わからない
42. 過疎地域等の振興	過疎地域や離島等が活性化や地域おこしの取組を通じて魅力のある地域になっていること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
43. エネルギー	省エネルギーの意識や、太陽光発電の普及など地球にやさしいエネルギー対策が進んでいること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
44. 飲料水の供給	安心して飲める水が安定的に供給されること。	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6

問5-2 以下の目指すべき社会の状態について、現在の行政の具体的な取組をどの程度ご存知ですか。

それぞれに○を1つずつつけてください。

		認 知 意 識			
		取組の内容を知っている	取り組んでいることは知っている	あまり知らない	知らない
1. 人権尊重	性別、出身地、障がいの有無などによる差別がなく、一人ひとりの人権が尊重され、個性や能力が十分発揮できること。	1	2	3	4
14. 食の安全	安心して食べられる食品が安定的に供給されていること。	1	2	3	4

6 . 地域の活動についての質問

問6 - 1 近年、NPO(民間非営利団体)と呼ばれる、営利を目的としないボランティア団体や市民団体の活動が盛んになっています。

あなたは、NPOやボランティア、地域の活動などに参加したことがありますか。
また、今後参加したいと思いませんか。(　 は1つ)

- 1 . 現在、積極的に参加している。
 - 2 . 現在、お付き合いで参加している。
 - 3 . 過去に参加したことがあります、また参加したい。
 - 4 . 過去に参加したことがあるが、もう参加したくない。
-
- 5 . これまで参加したことはないが、今後はぜひ参加したい。
 - 6 . これまで参加したことはないが、機会があれば参加してみたい。
 - 7 . これまで参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない。

問6 - 3へ

【問6 - 1で、1 ~ 4に つけた方だけにおうかがいします。】

問6 - 2 どのような活動に参加されていますか。あるいは、参加されましたか。

(あてはまるもの全てに 　)

- 1 . 環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動
- 2 . 福祉、介護、保健、医療の活動
- 3 . 防犯パトロールなど地域の安全確保の活動
- 4 . まちづくりなどの計画策定や維持管理などの協力
- 5 . 芸術・文化活動
- 6 . イベントの企画・実施
- 7 . 国際交流
- 8 . 消費者活動
- 9 . 防災活動、災害支援
- 10 . その他(具体的に: 　)

【全員の方におうかがいします。】

問6 - 3 次のア～カの項目について、あなたの住んでいる地域の人が中心となって積極的に取り組むことが必要だと感じますか。

(ア～カの項目について、 　 はそれぞれの番号に1つずつ)

項 目	必要だと感じる	特に必要はないと 感じる	わからない
ア . 青少年の健全な育成	1	2	3
イ . 子育て支援	1	2	3
ウ . 高齢者への介護、福祉	1	2	3
エ . 防犯や防災に向けた対策	1	2	3
オ . 環境保全	1	2	3
カ . まちづくり、地域振興	1	2	3

7. 県の広報広聴活動についての質問

問7 - 1 あなたは、県が行っている施策や事業について、どこから情報を得ていますか。
(はいくつでも)

1. 県の広報紙「県政だより みえ」
2. 新聞広告「広報みえ」など
3. 三重テレビ「輝け！三重人～きらめく^{うま}美し国～」(金曜日 22:15～22:30)
4. FM三重、東海ラジオ、CBCラジオ
「三重県からのお知らせ」「こんにちは三重県です」「三重県の窓」など
5. 新聞の報道記事やテレビ・ラジオのニュースなど
6. 県庁関係のインターネットホームページ(<http://www.pref.mie.jp/>)など
7. その他(具体的に:)

問7 - 2 今後充実を図るべき県の情報提供の方法は、どのような方法が良いとお考え
でしょうか。次からお選びください。(はいくつでも)

1. 県の広報紙「県政だより みえ」の充実
2. 県提供テレビ・ラジオ番組の充実
3. 新聞広告の充実
4. 報道機関などマスメディアとの連携による報道の充実
5. 県庁関係のインターネットホームページの充実
6. その他(具体的に:)

問7 - 3 「県政だより みえ」(各戸配布の県の広報紙)は、どの程度役に立つと思いますか。
(はい1つ)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 役に立つ | 2. 少しは役に立つ |
| 3. あまり役に立たない | 4. 役に立たない |

問7 - 4 県民の皆さんの意見や要望をより一層県政に反映させるためには、どのようなことに
特に力を入れるべきだと思いますか。(はいくつでも)

1. 公聴会(意見聞き取り会)等の積極的な実施
2. インターネットによる意見反映制度(パブリックコメント等)の充実
3. アンケート調査等による定期的な県民意見の把握
4. 県民提案(相談)窓口の充実
5. 委員会や懇談会など県民が直接参加する検討会の充実
6. その他(具体的に:)

8. あなたご自身のことについておたずねします。

あなたご自身のことをお聞かせください。

お答えいただきました内容は、統計的に処理されますので、個人が識別されることはございません。安心してお答えください。

1 性別を教えてください。(○は1つ)

1. 男性 2. 女性

2 平成22年4月1日時点での満年齢があてはまる年代をお答えください。

(○は1つ)

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代
4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳代以上

3 県外にお住まいになったことがありますか。(○は1つ)

1. ない 2. ある(通算5年未満) 3. ある(通算5年以上)

4 現在の地域にどの程度の期間お住まいですか。一時期他の地域にお住まいだった方は通算で何年になるかお答えください。(○は1つ)

1. 1年未満 2. 1年以上5年未満
3. 5年以上10年未満 4. 10年以上

5 就業状況などについてお答えください。複数お持ちの場合は主なものを挙げてください。パート・アルバイトについては、最近一年間で最も長く従事されていた内容をお答えください。(○は1つ)

1. 農林漁業 2. 製造業 3. 商業・サービス業
4. 建設・不動産業 5. 運輸・通信業 6. 金融・保険関係
7. 医療・福祉関係 8. 教育・保育関係 9. 公務員(8の教育・保育関係は除く)
10. 学生 11. 無職(家事に従事する場合を含む)
12. その他()

6 現在お住まいの地域はどちらですか。1～5の地域に○をつけてください。

また、お住まいの市町を1つ選んで○でかこんでください。

1. 北勢地域	2. 伊賀地域	3. 中南勢地域	4. 伊勢志摩地域	5. 東紀州地域
桑名市・いなべ市 木曾岬町・東員町 四日市市・菰野町 朝日町・川越町 鈴鹿市・亀山市	伊賀市 名張市	津市・松阪市 多気町・明和町 大台町	伊勢市・鳥羽市 志摩市・玉城町 度会町・大紀町 南伊勢町	尾鷲市・紀北町 熊野市・御浜町 紀宝町



うま 美し国おこし・三重

【^{うま}美し国おこし・三重シンボルマークについて】

^{うま}美し国の「美」と三重の「三」を基に、県民の固い絆と自立の精神で「^{うま}美し国 三重」をさらに磨きあげる、元気でたくましい姿を表現しています。

また、それぞれの色は、昇る太陽、豊かな海・緑、歴史や文化の背景をイメージしたものです。

【^{うま}美し国おこし・三重シンボルマーク】

